こうのす

社協だより

※社会福祉協議会は、“社協”の愛称で親しまれています。

～ あなたの身近に役立つ福祉情報 ～

第155号 令和５年 1月 年6回発行
5月、7月、9月、11月、1月、3月

理解『ひろまる』みんなで“はなまる”

『社会福祉協議会』

『社会福祉協議会』は、『社協』の愛称で呼ばれています。『社協』は、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように、住民のみなさんと共に地域福祉について考えながら活動を行っています。

地域福祉

誰かの困りごとに気づいたり、ひとりで悩んだりすることがないよう解決に向けた仕組みを考えるため、住民のみなさんや関係機関、市、『社協』などが連携してみんなでカを合わせて、住みよいまちづくりを進めていくことです。

『社協』が取組む主な活動

（※は市からの受託事業）

地域福祉活動

- 見守り活動…福祉見守り員が一人暮らし等の高齢者へ見守りを行っています。
- 高齢者サロン活動…地域に「気軽に集まれる居場所」を増やすため、新規立上げの相談と助成金の交付を行っています。
- ※鴻巣市生活支援体制整備事業
- 子育てサロン、おもちゃ図書館　など

相談・支援

- ※生活困窮者自立相談支援事業
- ※家計改善支援事業
- ※鴻巣市手話通訳派遣事業
- ※鴻巣市視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業　など

ボランティア

- ボランティアの育成…ボランティア養成講座や福祉教育推進事業を行っています。
- ボランティア相談…ボランティア活動に関する相談に対応しています。
- ボランティア団体への助成金交付
- ボランティアセンターだよりの発行 など

啓発・広報

- 福祉イベントの開催…ふれあい広場、ボランティア見本市、いきがい作品展等の開催。
- 社協だより、ホームページ　など

貸出

- 車いす、※障害者用送迎自動車貸出事業
- レクリエーション資材（ボッチャ、わたあめ機、ポップコーン機等）　など

力を合わせるために必要なこと

困っている人がいたら目を背けるのではなく、手を差し伸べる気持ちが大切です。

住民のみなさんから社協会費、共同募金にご協力いただくことで、『社協』が取り組む活動の財源となり大きなカとなります。

これからも、ひとつでも多くの“はなまる”がつくように、みなさんとカを合わせて活動を行っていきます！

☆社協だよりは、「社会福祉協議会会費」及び「共同募金」を活用し、自治会のご協力により配布されています。

発行　社会福祉法人　鴻巣市社会福祉協議会
〒365 - 0062　鴻巣市箕田 4211 番地1（鴻巣市総合福祉センター内）　TEL 048-597-2100
FAX 048-597-2102　ホームページ　https://konosu-syakyo.or.jp/

社協ホームページはこちらから

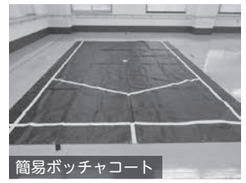
室内でも楽しめる“ボッチャ”しませんか!!

障がい者スポーツ大会で有名になった誰でも気軽に楽しめる“ボッチャ”の用具の貸出をしています。

また、新たに簡易ボッチャコートの貸出を開始しました。

寒い冬は室内にこもりがちですが、身体を動かして元気に過ごしましょう！

ボッチャセット


簡易ボッチャコート

ご紹介します♥ “ボッチャ”サポーター！

ボッチャを広げるため、現在４名のサポーターが施設のレクリエーションや高齢者サロンにうかがい活動しています。興味のある方、ぜひ一緒に活動しましょう！

問合せ　地域福祉課　地域福祉グループ　TEL 048-597-2100　FAX 048-597-2102

『家計相談会』を実施しています ～暮らしとお金の相談してみませんか？～

＝鴻巣市家計改善支援事業＝

家計のやりくりがうまくできない…

家賃や税金、公共料金などの滞納を解消したい…

債務整理の方法を考えたい…

一時的に生活費が足りなくなった…

ファイナンシャルプランナーと家計改善支援員が相談に応じます。費用は無料です。
相談日・場所はホームページでご覧になるか、または電話でお問合せください。

問合せ　地域福祉課 権利擁護・生活困窮支援グループ
TEL 048-597-2100　FAX 048-597-2102

詳しくは社協HP掲示板▶

鴻巣市生活支援体制整備事業（担い手養成講座）　美味しいコーヒーの淹れ方講座 ～芳醇な香り嗜む大人の時間～

鴻巣市生活支援体制整備事業では、いつまでも住み慣れた地域で“健康でいきいき”と生活を送るための仕組みづくりを話し合っています。そこで、趣味の幅を広げ、地域活動で披露できるような講座を開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。

- ◆日　時：令和５年２月８日(水)　午前10時～正午頃
- ◆場　所：鴻巣市総合福祉センター ２階 調理室
- ◆対　象：市内在住の65歳以上の方
- ◆参加費：500円(コーヒー豆代等)
- ◆講　師：有名コーヒーショップ
- ◆定　員：20名 ※定員を超えた場合は抽選
- ◆持ち物：エプロン、筆記用具
- ◆申込み：地域福祉課　地域福祉グループ　TEL 048-597-2100　FAX 048-597-2102

あしたば第二作業所「春風祭」の中止について

標記イベントにつきまして、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度は中止とします。

～社協へのご厚意ありがとうございました～

令和４年10月21日～令和4年12月15日
（順不同 敬称略）

鴻巣敬神会露商組合 県央イベント協会	10,000円	躑躅森　喜代治	25,030円
鴻巣敬神会露商組合 お十夜	5,000円	栗原　昌子	30,000円
情報誌こうのす制作委員会	5,203円	宮地原自治会	60,000円
中央住宅消毒	20,000円	昭和28年度馬室小学校卒業生一同	30,302円
大正琴愛好会	5,000円	鴻巣市ウォーキングクラブ	18,299円
岩上　茂(㈱直徳)	20,000円	株式会社 大塚建設	20,000円

新年のごあいさつ

鴻巣市社会福祉協議会
会長　武井　利男

新年あけましておめでとうございます。

昨年は本会の事業推進に温かいご支援とご協力を賜り、役員並びに職員一同を代表しまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化や核家族化の急速な進展と長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。

こうした中、三年ぶりとなる〝おとな大学ボランティア学科〟を開校し、講義や実習を通じて知識の向上を図りながら地域デビューのきっかけの場づくりをするとともに、コロナ禍でも自主的な活動が継続できるよう、ボランティア団体、地域におけるサロン活動等へ継続して助成金の交付を行いました。

また、市からの受託事業である鴻巣市生活支援体制整備事業では、十月中旬より移動スーパーを開始し、高齢者の買い物支援はもちろんのこと、誰もが気楽に利用できることから、希薄化している住民同士が集う地域交流の場に発展することを期待しております。

地域福祉活動を取り巻く情勢は目まぐるしく変化しておりますが、住民サービスの向上を常に心がけ、新しい生活様式に合わせた活動展開を図るため、住民の皆さまをはじめとし、支部社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員・児童委員、福祉関係団体や行政機関との連携・協働を図り取り組んでまいります。また、地域福祉活動の財源となります社協会費や共同募金活動につきましても住民の皆さまからご協力いただけるよう事業を推進してまいります。

結びに、本年も役員並びに職員一同、皆さまから信頼される鴻巣市社会福祉協議会を目指し、更に精進してまいりますので、本会への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆さまにとって幸多き年になりますよう、心よりご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

令和４年度 埼玉県社会福祉大会

（順不同・敬称略）

この大会は、埼玉県の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、県内の社会福祉関係者が集い、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにし、福祉活動の更なる普及と充実を図ることを目的として開催されるものです。

埼玉県社会福祉大会会長表彰

ボランティア（個人）

現に社会福祉事業のボランティアとして10年以上にわたり、率先して活動を行い、その功績が顕著なもの

- ＊田中 悦子
- ＊篠﨑 恵
- ＊嶋村 和枝

埼玉県社会福祉大会会長表彰

ボランティア（団体）

現に社会福祉事業のボランティア団体として８年以上にわたり、率先して活動を行い、その功績が顕著なもの

- ＊ハーモニカボランティア「青空」
- ＊観光ボランティア鴻巣ガイド会
- ＊鴻巣ボランティア連絡協議会
- ＊鴻巣市日中友好協会
- ＊鴻巣紙芝居えがお

埼玉県共同募金会会長表彰

奉仕者

10年以上にわたり奉仕者として率先して活動を行ったもの

- ＊深尾 恵弘
- ＊鈴木 義尚

備えあれば患いなし、知識を深めて 一致団結
～災害ボランティアセンター訓練～

近年増加するいつ何時に発生するかわからない自然災害等に備え、11月19日（土）に災害ボランティアセンター開設及び運営実践訓練を行いました。熊本地震で被災した益城町のDVDを視聴し、実際に現場で起きていた状況を知ることで、職員ひとり一人の意識向上が図られました。さらに各班別でマニュアルの見直しや活動内容の確認を行うことで、班内で共有した認識が持て、団結力の強化へと繋がりました。

資材点検と操作方法の習得

マニュアル点検と改善点等見直し

災害ボランティアセンターとは？

被災者・被災地を主体としながら、ボランティアの協力を得て、地域の復興につなげていくことを目的に、有事の際、市からの要請に基づき社協が立ち上げます。

災害ボランティアセンターは、被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

鴻巣市社協で開設する災害ボランティアセンターは下記５つの班で構成しています

- **受　付　班**　災害ボランティアの受け入れ、保険加入手続きなど
- **ニ　ー　ズ　班**　被災者からのニーズ把握（電話受付・現地調査）など
- **マッチング班**　被災者ニーズと災害ボランティア活動のマッチング、オリエンテーションなど
- **資　材　班**　必要な資材の確保、受け渡し、管理など
- **総　務　班**　全体のとりまとめ、広報、統計、情報管理、会計など

腸活のススメ

免疫力を高めて冬を健康にすごしましょう！

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症対策には、免疫力を高めることが必要です。免疫力を高めるには、腸内環境を整えることが重要となるため、腸内環境の働きを整える食材・食品を紹介します。

●きのこ類

食物繊維が豊富で、ビタミンやミネラルが多く含まれています。がん予防や便秘解消にも効果があります。

●発酵食品

大豆等を発酵させた、味噌や醤油、納豆、米ぬかを活用した漬物、牛乳を発酵させたヨーグルトなどは、納豆菌や乳酸菌等の善玉菌が多く含まれており、食べ続けることで腸内の善玉菌が増えます。

●水分補給

水分は、代謝促進や粘膜の潤いになります。一日の目安は、約２リットルですが、一度に飲むことはできないため、水筒を利用しながらこまめに飲みましょう。また、冬場は白湯にすると飲みやすくなります。

カンタン腸活献立

普段の味噌汁に“ちょい”たし

発酵食品同士の相性がよいため、味噌汁にヨーグルト（甘味なし）をお好みで入れます!!
ヨーグルトを入れるタイミングは、火を消した後です。
味は、コクが増しクリーミーになった印象です（個人差はあります）。

寒い時期、特に美味しい“みかん”にはビタミンCが豊富に含まれており、強い抗酸化作用から風邪などの病気に対して抵抗力を高める効果があります。この冬もみかんを食べて元気に過ごしましょう！

監修：NPO法人栄養サポートみかん